

失敗したら、失敗したでええやん。これが立守の強みかもね

語り手 小野 文彰（高校六期生 教員） 聞き手 大森 岳

部活に生きる高校

—立命館守山中学、高校でということされたのかとか、どういう感じで生活送られてたのかいうのを聞きたいかなと思います。まず、高校生活。

高校生活はほんとに部活に明け暮れましたね。当時は横江川先生のもとで（部活動のソフトテニスを）やらしてもらったんですけど、当時、高校が強くなりだしたぐらいで、インターハイ行くか行かんかっていうぐらいの時やって。もう今はばんばん強いんですけど、ほんとにそんなことなく。創部三年目とか四年目やったので、そんな中でインターハイ行くぞって感じで頑張ってたんですけども、ちよつとあんまり、結果も（県）三位ぐらいまでが限度で、どうにもならなくて、もう毎週毎週、いろんなとこ飛び回って、遠征に行って、授業行って寝てたら後ろから先生に起こされる、みたいな感じで怒られるということがたくさんありました。もういい思い出ですね。もうほんとに部活に明け暮れてましたね。

今も半ドンってあるのかな。土曜日午前中授業みたいな。当時は土曜日午前中授業して、そのまま県外行くとか、富山行くとかやって、ほんとに休みなんか全くなくて。

ちようど、アイリスができた時だったんですよ。もともとアイリスじゃなくて、あれ田んぼやったんですよ。僕ら高校の時できて、俺らにも

ええコート作れよかって文句言いながら、暗い中やってましたね。

当時、かいとん（田中海登先生）キャプテンやったんすよ。中学の時とか（田中先生）超強かったんですよ。そうそう、ほんまにもうすごい人で、それで多分立守来たみたいな感じで。団体県三位で。で、次の年のキャプテンも県三位になって、僕がキャプテンなって県ベスト八まで落ちるという。そこで、横江川先生に「お前は史上最低のキャプテンだ。」って言われて。まじかって感じでやってました。はい。

—中学も高校もずっとソフトテニスやられてたんですか。

僕は小学校からやってて、それで、今でもあるかな、かがやき入試、推薦入試みたいなね。あれで、中学から（立守に）行ったんですけど、中学はね、今ソフトテニス部ないじゃないですか。そんな感じで中学は、当時もう全然部活として成り立ってなくて、もう遊びでやってるみたいな感じやって。僕もどんどん、もうどうでもええわってなって、勉強の方にシフトして。FSC（現在のFTコース）入りたいなと思ったんで、それがちようど全部できた年やって。だから、AMC（現在のAMコース）とかもなく、ほんま普通科っていう一つしかなかったんですけど、ちようど僕が高一になるときにできる年だったから、じゃあそれで行くかなと思って。そしたら、部活頑張れよって横江川先生に言ってもらえて、ほなやるかみたいな感じで。だから中学時代は部活じゃなくて、どっちかつうと勉強の方ずっと頑張ってたね。

僕、ちようど主任の先生が吉田先生、サッカー部の。今サッカーの監督さんなんですけど。その人がちようど学年主任やって。もうバカ怖くて。当時はね、もう一生勉強してるみたいな感じやったつすね。

当時の先生も今もね、ずっと残ってくれてはるし、たまにちよつと高校の練習見に行ったりしたらいてくださって、嬉しいですねほんまに。

最後に行ったの三年前とかですけど。はい。教育実習とかでも行ってきましたし。

—今、教師してらっしゃいますもんね。当時から国語系というか、社会とか国語が好きやったんですか。

実は僕、バリバリ理系やって。今って理一、理二、理三とか別れてるんですかね。僕らん時は、理一、理二、理三とかで別れてて、理一は大学の授業に週一で行けるんすよ。で、単位を先に取れるんですよ。俺それめっちゃええやんと思って、え、じゃあ週一回部活サボれるんやろって。ほな絶対それ行くわってなって。だから理科バリバリやって。だから絶対に理系の方行くんやろなと思ってて。

(理系は)BKCじゃないですか。BKCは、ちょっと男性の方ばかりだったから、ここでキャンパスライフはちよつと俺無理だなと思って。そう、先輩方にどの学部がいいですかって聞いたら、俺はもう産業社会と遊文学部(あそぶんがくぶ)はいいよってお聞きしたので、じゃあ遊文学部ということ。ものすごくクソみたいな理由ですが、文系に行きましたね。

三年の最後で文転したんですよ、めちゃめちゃ怒られました。担任の先生に無理や、無理やってって言われて。ほんまに行かしてくださいとか言って、なんか通っちゃったつすね。親呼び出されたりしましたけど、なんとか行きました。

—じゃあ、文学部入って、楽しいなみたいな感じになったんですか。そうですね。初め英語(の学部)行きたかったんですけど、なんか英語はもう理系やから無理やって言われて、国語系の方行けって言われたから、中国語の方行って、それで、面白かったし、まあよかったなど。

テニスする、テニスせえへん。理科する、国語する。ほんまにそんな

人生。

楽しかった学校生活

でも、楽しかった。ほんまに、この中学、高校行ってよかったなと思う。全然後悔はないですね。なんか忙しかったけど。先生方も、すごく怖かったけど。土日、全部練習試合で飛び回るって、ようできひんわと思って。すごいなと思って。いい先生ばかりですよ。

でも後輩の君たちがよく頑張ってくれてるから、やっぱり進路指導してても、立命館守山がすごい良い学校やっていう風になってくれている。ほんまに君たちが頑張ってくれてるから嬉しいなと。僕らみたいなボンコツが悪い学校にしてもうたから。いい学校なった。素晴らしい。中学の一番は、やっぱ中三の時に、海外研修行って。何考えてんのかと思って。ニュージールランド行かされて、でも行ったら楽しかったし。当時十五歳のなんも知らんクソガキがホームステイ行っただけど、ほんとにええ経験だったし。何がええ経験って言われたら、なんとか英語で頑張って(話して)。立守って英語の授業って基本英語でしてますよね。

今、教師なって英語の授業とか見てたら、日本語八割の英語二割なんですよ。この文法は……みたいな感じでやって。僕らも中学の時とかずっと英語で喋ったから、わかるかと思いがらやってたけど、いざ、ニュージールランド行って英語で聞いてたら、「おい、聞いたことあるぞ。」みたいななるから。そういう授業出れてよかったなとかすごく思ったし。聞き取れるようになってよかった。それ(英語の授業が楽しかった)があったから、ちよつと言語行きたいなと思って中国語行っただんかもしれへんな、わからんけど。色々、経験させてもらえたから良かったっすね。

先生も変わってへんしな。かいとん(田中海登先生)はほんまに熱い男。俺めっちゃ好きやった。かいとんがまさか高校戻って教師すると思っ
てなかった。

―ソフトテニスでキャプテンやってた時って、なんか面白いこととかあ
ったりしました。

昼休み、横江川先生から、お前が毎日メニューを聞きに来いと。「わか
りました。」つって、毎日弁当を早く食って、「失礼します。キャプテン
小野です。横江川先生おられますか」つって。体育の先生怖いから、(横
江川先生いるのに)「おらん、おらん。もう一回言え。」つて。で、「失礼
します!!」みたいな。お前は物覚え悪いからメモしてつて。でも、い
ろんな体育の先生とめっちゃ仲良くなった。

あとは、峯松先生。俺らの時はおられなかつてんけど、俺らが卒業し
た二、三年後に来はつて。ほんまにバケモンみたいな人やから。だって、
高校全国一位、大学全国一位の人やから、ほんまにうますぎる。(峯松先
生が立命館守山高校に)きはつて、やっぱぐんつて強なった。そんな時
からもうインターハイ当たり前になった。

俺、教育実習でも部活見なダメなんすよ。だから、生では何回か見た
ことある峯松先生がテニス教えてんの見て、ゴムチューブを使って、な
んか、この反動やとか、ここの筋肉がとかって、すっげえな、そんな考
えたことないなと思つて、そうやって色々知識があつてやつてはんねん
なつていうのでびっくりして。

僕は姉が高校の教師で、女子テニスの県トップの顧問をしとつて。先
生は男子の(ソフトテニス部の)方じゃないですか。それで、結構姉か
らも聞いてたんで、すげえなんか理論持ってやつてはるつていうのを聞
いて。すごい、だから全国一位なんやねんなと思つて。

―この授業が面白かったとありますか？

理科はおもろかった。なんか一ヶ月ぐらいタンポポの授業させられて。
当時、タンポポの研究の権威みたいな人がおつたらしくて。タンポポの
論文で世界に発表してるみたいなのがおられて、タンポポの……みたい
な感じで、めっちゃ語り出されて、「今からたんぽぽ探しに行くぞ!」「わ
かりました!」みたいな。高校生がなんか、外行つて、「タンポポありま
した」とか言つて、「このタンポポは西洋タンポポで、この萼のところが
な……」「マジすか!」とか言つて。何してるんやろつて思います。スケ
ッチみたいな書いてうまく書いてるなとか言われて、これでほんまに
成績つくんなかみたいな。

授業は全部おもろかった。ほんまに考える探究型の授業で。数学でも
絶対答え言わらんかったし。

僕ら(の時代)タブレットはなかったんよ。卒業した次の年からタブ
レットが導入されて。全部がなんか模索してる時やつて。部活も強化指
定とかなかったし。学校全部がそう思つてた時期やつた。

数学の時間も白板に一問ポンで、考えろみたいな。ほんまにそんな感
じで。結構自由な感じやった。喋つても良かったし。

考える授業みたいななんめっちゃ多かった。でもそれは社会人になつて
よかったなつて。授業してても、例えば僕、国語科なんで、一昨日とか
短歌の授業をしたんですね。五七五で、色々こういう短歌があるつて見
せて。じゃあ自分で書いてみようかって。タブレットで書かせたんすよ。

そしたら、誰でも書けばいいの、何書けばいいのつて考えることを放
棄しよるから。別に、今の中学生を下げるわけじゃないけど。

今やつたら夏やから、かき氷とかでもええやんつてヒント出しても分
からへんつて放置しよる。そう思うと、僕らなんかゼロからか考える感

じじゃないですか。ミスってても考えたらもうオッケーみたいな。だから、いい授業やったんやろなと思って。やっぱ今って、百のうち七〇言ってあげても動けへん子がすごく多い。数学とかで公式言って、ここに当てはめて、じゃあ最後答え出すまで言ってあげへんと、多分書けへん子が多い。

やから立守から出てるやつは、俺の同期のやつとか、会社辞めて独立したやつ多いんすよ。公務員なってるのなんかもう二、三人しかおらんくて、同期の中で。

―衣笠キャンパスの思い出とかあったりしますか

俺、留年してるしな。一年で四単位しかとってなかった。めっちゃ楽しかった。大学生ってこんな楽しいんやって。ずっと部活してたから解放されて。大学二回で日本一周をして。もう別に留年するやつたら、なんかもうちよつと楽しいことしようと思って、原付きで日本一周して。めっちゃ楽しかった。それで、家帰ってきて親に、ごめんなさい、百万貸してくださいって。留年して。で、きっちりした仕事つこうと思って、公務員になるっていう。

―公務員になろうと思ったきっかけみたいなのも教えて欲しいです。

僕、就職でも、公務員や教師になると思ってなくて。一応親が教師やったから、教員免許取っとけって言われたから一応とってただけで。親も絶対に教師なんなってる言っとったから。(教師は)もうしんどい仕事やからお前向いてへんぞって言われてた。就職も、N T T受かったから、めっちゃ金もいって聞いてたし、やったと思って。そんな中、教育実習最後行くかと思って、立守行ったんですよ。中学校行かせてもらって。めっちゃ楽しくて。生徒と授業したり、部活したり、夜とか十時までなんか教材研究とかしてたけど、楽しすぎて、これ教師なるしかないなと

思ってた。で、教員採用試験受けて受かったからN T T蹴って教師になった。後悔はしてないすよね。それもやっぱ立守で教育実習やったから教師なりたいたいと思ったわけやし、何より、中学高校が楽しかったから教師しようと思ったんやろな。

今立守、行事頑張ってるよな。あすなろ祭って名前が当時できて。もうその頃から万人目指せっていうのがあって、当時は六〇〇〇人とかやったらそんな高校のくせにバケモンじゃないですか。生徒会の子らは夜遅くまでずっとやとったし、僕らもクラスのこと八時ぐらいまで残ってたけど、それ以降もなんか残ってやとって。生徒会大変よね。今、生徒会担当してるけど、中学なんて比べ物にならないやろなと思って。僕ら、体育祭とか文化祭もあんなに楽しんだけど、正直教師が八割準備するから。高校生はだって九割生徒がするやろ。発注とかなんか。社会人になっても生きてくと思う。

失敗話でもいいんかな。高二の時、部活で近畿大会行って先輩らが最後の試合やって、団体戦でベスト八までいって。近畿大会で、滋賀県の高校がそこまで行くの久々やんみたいになって。当時のキャプテンもめっちゃ怖いやつやってんだけど、ほんまにお前ら勝つぞみたいな感じで。ほんで、次の日、テニスってダブルス三つで、二つ勝てば勝てるんよ。で、僕三番手やって、負け勝ちで、僕が勝ったら勝ちっていう場面で。当時俺二年で他みんな三年やったから、ガチガチに緊張して。僕、三本連続でマッチポイントミスって。それ決めてたら勝ててん。そんで、横江川先生にここに入った水で頭でも冷やせてつって。当時はバリバリ体育会気質でしたね。

今ってやっぱサイテック強いん？

―はい。この前世界一やったと思います。

やっぱそうなんや。サイテック部の技術棟のところに、ゴーカートがあるんよ。当時、バイオマス燃料で動くよっていうので、(サイテック部が)頑張り出してる時で、運転させてって言うて。俺、車好きやから、運転させてって。立守校舎の周りの通路で(車を運転)して、壊してもて黙って返したんよ、俺。

その子がなんか今、教師になってるらしくて。で、それがうちの姉貴の高校の教師らしくて、「あんたなんか壊したん。」って言われて、姉貴に「なんで知ってんの」って言ったら、その子が同僚やねんけど、あんたのこと言ってたでって言われて、なんでそんな、終わってから十年後に俺、怒られなあかんやろとか思いながら。当時は、俺含め、結構なはずものが多かったよな。俺なんて結構マシな方やったと思うで。当時からほんまに自由な学校よな。先生らも、結構なんでもやってええでって感じやったし。でも、一線超えたら怒るみたいな。

今の仕事と立守の凄さ

今って、テストはタブレットでやってるん。

ーいやまだ紙でやってますね。というか、テストの数自体が減ってると思います。

あ、そうなん。俺もテストは無くす派。無くすべき派やねん。だってな。そんなテストのために俺教えてるんじゃないし。俺も日頃の授業で全部成績つけたいけど。何で成績つけてはんの？

ーほとんど、レポートとかですかね。

そっちの方がええわね。立守すごいわ。実は今年入試、公立の入試形態も変わって、推薦入試の中にプレゼンってのが増えてん。君らが今やってるのが入試に増えたんよ。俺らもそういう授業せえ言われてんねん

けど。だから一昨日、自分の短歌作って、自分はこういうこと頑張りました、その短歌のええところはこれですみたいな。やっぱ考える力大事よな。だって社会人なって勉強してきたことそんないらんもん。俺は、教師やからもちろん勉強するけど、社会出てからのこと考えたら、絶対そっち(考える力を伸ばす教育)の方がいい。

公立の中学行ってびっくりしたんよな。中学、高校と私立やからさ。やから、めっちゃギャップ感じる。

ーどういうとこにギャップ感じてるんですか、例えば。

給食。小学校で給食終わってるからさ。立守の中学生とか、あいつら弁当とかやからさ、昼食の時間ずっと担任が教室おるってないやろ。俺らずっとみてなあかんからな。

掃除ってある？

ー基本、クレオさんがやってくれてはります。

せやんな、めっちゃ綺麗にしてくれはるやんか。なんか俺も掃除したことなかったからさ。今、「早よ掃除せえ、俺も中学の時掃除してたぞ」とか言うけど、実際やってないみたいな。

ー他、なんかギャップエピソードみたいなんあったりします？

学校でも授業はギャップ感じん。中学って国語言ったら国語やん。でも俺らって、中学の時から、現代文とか古典とかで分かれてた。やし、現代文これ読めって言われて読んで、じゃあお前の感想を、絶対キーワード入れて、六〇〇字内でこの時間中に書いて俺に渡せっていう。一言も喋らんと、こうやって先生座ってるだけで、書きましたみたいな。今じゃあそれ公立で書けって言ってやらせたら絶対書けんからな。だから俺は絶対見本見せる。俺やったらこう書いたって前にバーンって出して、もうわからなかったらこれ真似していいからみたい。それでもでき

ひん。中身の言葉違うからできんみたいな。失敗したら、失敗したでええやん。これ（失敗してもいい精神）が立守の強みかもね。

なんか長話すいません。

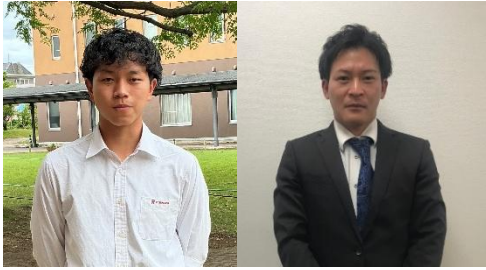
―おー結構もう話してますね。そろそろ終わりますか。

そうしましょう。

―今日はほんとにありがとうございました。

【感想】

立命館守山高校が、始まってすぐの平成を感じるお話がたくさん聞けました。高校生活を部活動に捧げて、ちよつとヤンチャもしながらも、楽しく学校生活を送っていた小野さんは、なんだかっこいいなと感じました。また、今のお仕事に就かれた理由や、就いた後の自分自身の考え方なども聞けて、大変勉強になり、今後の人生設計や進路を決めていく上で参考にしていききたいと思います。



右..小野 文彰さん

左..大森 岳